2026 年 10 月 15 日
株式会社フェイスネットワーク

フェイスネットワーク、開発プロジェクト 10 件が「2026 年度グッドデザイン賞」を受賞！住宅・産業／商業空間分野でデベロッパー単独*３年連続最多受賞を達成

東京の城南３区エリア（世田谷区、目黒区、渋谷区）を中心に高級賃貸レジデンスなどの開発を手掛けるデベロッパーの株式会社フェイスネットワーク（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：蜂谷二郎、以下「当社」）は、当社開発プロジェクト 10 件が、公益財団法人日本デザイン振興会主催の「2026 年度グッドデザイン賞」を受賞したことをお知らせいたします。なお、デベロッパーとして*３年連続最多の受賞となります。

*2024 年度～2026 年度グッドデザイン賞「住宅」分野および「産業／商業空間」分野において、デベロッパー単独企業としての受賞物件数が最多（グッドデザイン賞公式 HP から自社調べ・2026 年 10 月時点）。

GOOD DESIGN AWARD 2026

フェイスネットワーク グッドデザイン賞特設ページ：https://faithnetwork.co.jp/gooddesign/

グッドデザイン賞は、1957 年創設のグッドデザイン商品選定制度を継承する、日本を代表するデザインの評価・推進活動です。国内外の多くの企業や団体が参加する世界的なデザイン賞として、暮らしの質の向上を図るとともに、社会課題の解決にデザインを活かすことを目的に、毎年実施されています。

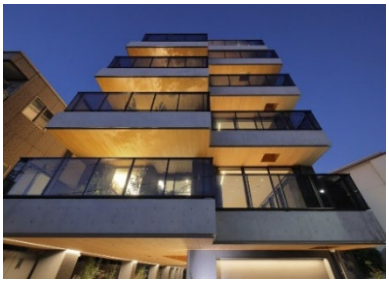
この度、当社が開発する高級賃貸レジデンス「THE GRANDUO」シリーズ 4 プロジェクトと新築一棟 RC マンション「GranDuo」シリーズ 6 プロジェクトの計 10 件において、「2026 年度グッドデザイン賞」を受賞いたしました。内訳は、住宅分野 8 プロジェクト、産業／商業空間分野 2 プロジェクトとなります。

なお、今回受賞した全 10 件は、「2025 年度グッドデザイン賞」を受賞した都市緑化プロジェクト「小さな緑を集めて 100 坪の森を創る」の取り組みに基づき、地域環境の保全や街並みとの調和に配慮して開発された物件です。

当社は今後も、デザイン性と居住性を両立させた高い資産価値を有する不動産投資用不動産の提供を通じて、真の不動産価値を創造し、お客様の夢の実現と豊かな社会の発展に貢献してまいります。

◆受賞物件のご紹介

【THE GRANDUO YOGA】



◆物件概要

本物件は細長い敷地ならではのプロポーションを生かした共同住宅です。「長さ」と「奥性」を建築のテーマとし、敷地形状を素直に反映した直線的なプランと、視覚的・動線的な連なりによって奥行きを感じさせるプランの 2 つの基準階によって構成されています。

◆評価コメント
さまざまな意味で挑戦的な計画。広い賃貸ユニットは多くの事業者にとって勇気のいる選択となりがちだが、本来多様な市場ニーズに対して堂々と挑戦し、デザインの力でそれを正当化することに成功している。特徴的な構造と内部および専有外部の空間の豊かさ、ある意味で割り切った「細長さ」を上手く魅力としてまとめたユニット計画等々、セオリー通りの開発マナーを超えるプロダクト価値の生み出し方へのチャレンジが評価された。

【THE GRANDUO SAKURASHINMACHI】



◆物件概要
本物件は桜新町の落ち着いた空間に建つ共同住宅です。南北に開いた空間から光や風が心地よく通り抜ける開放的な住空間となっています。太陽の光や風、雨などを間近で感じながら季節の移ろいを感じられるとともに、永く住むことで愛着が湧く素材感など、生活のリアリティを感じられる建築を目指しました。

◆評価コメント
全戸に南北の開口を確保することに計画の判断が集約されている。低層住宅地の限られた敷地で通風と採光を全住戸に配るのは容易ではないが、階段室型と長屋形式を掛け合わせるという住戸構成によりこれを解いている。形態から入るのではなく、動線と住戸配列の組み立てから開放性を導いている点に実直な検討の跡が見える。 外部空間の扱いも一様ではなく、土間とリビングが地続きになる前庭型のガレージと、南北へ抜ける貫通バルコニー型を用意し、住まい方の幅を持たせている。ガレージ付き賃貸の供給が乏しい地域に、それをリビングとつなげ開放的に計画することで事業性を高めつつ、居住者の個性が見える状況を作り出していることもデザインとして秀逸である。 こうした半屋外を生活の場として使わせるには、視線の処理が要となる。プライバシーへの配慮を間取りと一体で整理したという記述は控えめだが、賃貸において最も配慮すべき部分であり、3 階に植栽帯を設けて周辺の低層な佇まいへ歩調を合わせた判断も併せて、街との折り合いをつける丁寧な計画である。

【THE GRANDUO HANEGI＋THE GRANHAUS HANEGI】



◆物件概要
本物件は世田谷代田駅から徒歩約 6 分、羽根木公園の東側に隣接し、環状七号線からは約 200m離れた閑静な住宅街に建つ集合住宅です。4 棟の戸建てと 3 棟の集合住宅、計 7 棟からなる全長約 90mの街並みが特徴のプロジェクトです。

◆評価コメント
一事業者が行う面的な開発は、ともすると画一的なデザインによって均質な街並みと、相互に無関係な暮らしを齎すことになりがちだが、この計画はその点で画期的な挑戦をしている。戸建てや集合住宅を敷地条件に応じて柔軟に混在させ、また同じ素材や形式を踏襲しながらも、一つひとつに個性のある住戸群が作り出されている。さらに住戸相互は、気配が感じられるような丁寧な開口部のデザインによって、程よい距離感で関係付けられている。このような面的な開発であれば、長い年月にわたって地域の価値も高めてくれるだろう。

【GranDuo 荻窪 2】



◆物件概要
本物件は杉並区荻窪の穏やかで閑静な街並みに調和する集合住宅です。駅周辺には多彩なお店が並び、にぎやかでありながらも、少し歩けばどこか懐かしい雰囲気の住宅街が広がります。そんな荻窪の街並みに馴染むよう、複数の小さな箱を重ね合わせながら集合させた小さな丘のような建築を目指しました。

◆評価コメント
住宅街のスケールに馴染むよう、小さな箱状のボリュームを重ね合わせた丘状の集合住宅であり、箱をずらしながら積層することで、各階に大きなルーフテラスを生み出している。ルーフテラスを大胆に緑化することで、賃貸住宅でありながら、庭付き戸建て住宅のような豊かな住環境を実現するとともに、緑の丘という新たな風景を街にもたらしている点は高く評価できる。 箱に設けられた開口部は階ごとに向きを変えることで、住戸同士の見合いを避けると共に、建築の表情に心地よいリズムを与えている。 住戸に付随するルーフテラスの植栽が適切に維持管理され、緑の丘の風景が時間とともに豊かに育まれていくことを期待したい。

【GranDuo 祐天寺 2】



◆物件概要
本建物は東急東横線祐天寺駅から徒歩約 12 分の立地に建つ共同住宅です。働き方改革が進む昨今、時間や場所にとらわれない多様な働き方と暮らし方が求められています。プライベートとパブリックがシームレス化している現代において、住まいに求められる機能も多様化しています。そうした時代の変化に応え、単に住むだけではなく、新しいライフスタイルを提示できるような建築を目指しました。

◆評価コメント
土地の歴史や街の環境を丁寧に読み解き、計画へと反映させる建築家の姿勢に強く共感する。接道部に対して平面形状を雁行させ、断面的にもセットバックすることで、住宅地のスケールに馴染むよう計画している点も高く評価できる。多様な住戸プランは、住宅を単なる居住のための空間と捉えず、これからの時代の新しい暮らし方を前提とした提案となっており、特に、広いインナーテラスを持つ住戸や独立性の高い個室を持つ住戸は、従来の賃貸住宅では実現し得なかった暮らしを可能にするものである。 この集合住宅で生まれる新たな暮らしの実践が、次なる集合住宅の可能性を切り拓く契機となることを期待したい。

【GranDuo 経堂 19】

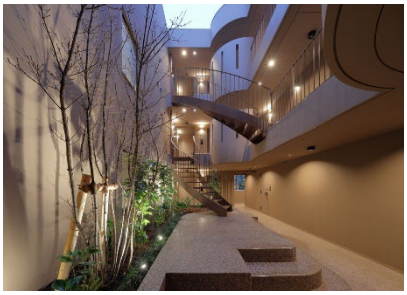


◆物件概要
本物件は小田急線経堂駅から徒歩約 7 分の立地に建つ共同住宅です。西側には山下公園、南側には墓地が広がる開放的な土地であることから、眺望や自然光に恵まれ、木々を揺らす心地よい風が通り抜けます。周辺環境との調和を図るとともに、プライバシー性にも配慮した設計となっています。

◆評価コメント
内と外の中間領域が魅力的な集合住宅である。集合住宅は、バルコニーが外部との唯一の接点である場合が多く、プライバシーと開放感は、なかなか両立しないことが多い。しかしこの集合住宅では、中間領域を専有部の窓先に立体的に取ることで、その両立を

巧みに実現している。外観も、この中間領域の存在によって奥行きが感じられ、一方で室内からは、窓を開け放しても、外部からの視線が気になることもなさそうである。さらに視界が上下方向にも広がることで、分断されがちな上下階の関係も穏やかに築かれそうである。集合住宅における新たな魅力を作り出す建築的な仕掛けとして、この中間領域を高く評価したい。

【GranDuo 中野 7】



◆物件概要
本物件は中野と高円寺の中間地点に位置し、閑静な住宅街に建つ共同住宅です。扇形の敷地形状を生かし、奥へ進むにつれて空間に広がりを感じられる構成とするとともに、建物中央に中庭を設けました。曲線を描く階段や植栽とベンチが配置された中庭は、入居者同士のコミュニティーを醸成する共有スペースにもなります。

◆評価コメント
端正で直線的かつ比較的閉じた外観からは想像しにくい、開放的な中庭状のコモンヤードを持つ集合住宅である。コモンヤードの中央に設けた緩やかな曲線を描く階段と、円弧状の小さな居場所が、印象的で豊かな共用空間を生み出している。 また、各住戸に寝室とは異なる「ホビールーム」や「半個室空間」を設け、住戸内に多様な居場所を確保することで、新たな暮らし方を提案している点も興味深い。 中庭と対照的な外観デザインについては評価の分かれるところであるが、共用部と住戸の双方において、従来の集合住宅にはない豊かな空間を実現した点は高く評価できるものである。

【J.Reveur 千歳烏山（GranDuo 千歳烏山）】



◆物件概要
本物件は京王線千歳烏山駅から徒歩約９分の立地に建つ共同住宅です。時間や場所にとらわれない働き方や暮らし方が求められる現代では、プライベートとパブリックがシームレス化しています。こうした時代の変化を踏まえ、住まいに求められる機能を多様化することで、新しいライフスタイルを提案する建築を目指しました。

◆評価コメント
敷地形状の難しさに対して誠実に取り組んだ結果、良質な集合住宅が生み出されている。共同住宅や長屋を織り交ぜたことが結果的に多様な住戸構成に結び付き、また様々な方向性の住戸構成は、変化に富んだ外観をつくり出している。集合住宅がとかく陥りがちな均質さからは程遠い快適な環境が、住戸内部だけでなく、街並みに対してももたらされ、またこの変化に富んだ外観に相応しい落ち着いたタイルの外壁仕上げが雰囲気をより良いものにしている。アプローチの路地空間も、居住者だけでなく、道行く人にも魅力的な奥行きを与えていて、街の魅力を高めていることも素晴らしい。

【AXION Futakotamagawa（THE GRANDUO FUTAKOTAMAGAWA SOIL）】



◆物件概要
本物件は東急線二子玉川駅から徒歩約５分、二子玉川の住宅街と駅の境界点に位置し、都市と自然が交わる空間に建つ店舗兼事務所です。駅への往来が多い通りに向かって建物の入り口を構え、上階は見晴らしが良い北側に開くことで、豊かな空の景色を取り込み、一日中安定した光環境に恵まれる計画としました。

◆評価コメント
リズミカルなテラスのホッピングが楽しい作品である。ファサードに動きをつくる階段や丸い柱の造形が、コンクリートとサッシというシンプルな素材によって際立っている。テラスの植栽はいわゆる自然というよりも、向かい合うまちの風景にある都市的な緑と呼応し、相互に借景を増幅しているように感じられる。これから複数のテナントの色が加わることで、緑の風景に人の営みが重なり、より豊かな表情をまちに生み出すことが想像される。

【Porte 下北沢（GranDuo 下北沢 15）】



◆物件概要
本物件は下北沢駅に近接する立地に建つテナントビルです。バルコニーに廻らした植栽が屋上まで積層し、大木を思わせる、新たなランドマークとなる建築としました。街の賑わいの中で人々が交差する起点のような、公共性を持つデザインとなっています。

◆評価コメント
下北沢を、緑を基軸とした再開発で新たな魅力を放っていると解釈し、その機軸を立体的に取り込んだデザイン。 無機質なコンクリートを洗い出しとすることで陰影を出し、そこにグリーンが絡みつくような設えにより、シモキタのプランターボックスを完成させている。 街の賑わいの起点となるシモキタのシンボルツリーとなれるのか否かは、建物デザインとここで営まれる事業が今後どのような貢献を街に提供できるのか、時間をかけて評価がなされるものであろう。周辺環境に馴染ませるのではなく、周辺建物からは際立った存在となることに果敢に挑戦したデザインとして評価した。

■会社概要
会　社　名：株式会社フェイスネットワーク
会 社　ＨＰ：https://faithnetwork.co.jp
住　　所：東京都渋谷区千駄ヶ谷 4 丁目 23 番 5 号 Daiwa 千駄ヶ谷ビル
代　表　者：代表取締役社長　蜂谷二郎
事 業 内 容：不動産業／建設業／一級建築士事務所
（城南 3 区にワンストップサービスで新築一棟 RC マンションを提供する不動産投資支援事業を展開）
証 券 コ ー ド: 東証スタンダード市場 3489

■株式会社フェイスネットワークについて
フェイスネットワークは、住みたい街として人気の東京 城南 3 区エリア（世田谷区、目黒区、渋谷区）を中心に、主に新築一棟 RC マンションによる不動産投資支援事業を展開しています。土地の仕入れから、設計、施工、物件販売、賃貸の入居者募集、物件管理に至るまで、全ての業務を自社で担うワンストップサービスを提供し、独自ブランド「GranDuo（グランデュオ）」、「THE GRANDUO（ザ・グランデュオ）」を展開しています。これまでに合計 300 棟以上の新築一棟マンションをプロデュースし、城南 3 区エリアにおける新築一棟 RC マンションの竣工棟数は No. 1 *です。(*㈱建設データバンクのデータを基に自社調べ/2026 年 3 月末時点) 投資用不動産の活用を通じてオーナー様の夢の実現をサポートするとともに、デザイン性と居住性を両立したレジデンス開発を通じて、入居者様の理想のライフスタイルの実現をサポートしています。

【本プレスリリースに関するお問い合わせ】
株式会社フェイスネットワーク 広報企画部 広報担当　鶴間（ツルマ）、細田（ホソダ）
TEL：03-6804-5837　MAIL：press@faithnetwork.jp